

テーマ：さつまいも

ハツ山保育園(品川区)

テーマの設定理由

毎年、園の畑で栽培するさつまいも。世話をする中で苗の生長過程に興味・関心をもつ姿から、さつまいもが生長するために必要なことを調べたり植える場所によっての成長の違いを予測したりするなどの探求心や想像力を養いたいと考え、このテーマを設定した。

対象年齢 5 歳児クラス

活動① さつまいもの苗を植えてみよう(5月)

活動のねらい

- ・土の種類を知る
- ・4か所にさつまいもの苗を植え観察する

用意した環境設定

- ・黒土 ・腐葉土 ・鶏糞
- ・黒い布袋 ・プランター ・スコップ

活動内容

- ・土に種類があることを知る
- ・さつまいもの苗を4か所に植える
(倉庫前の畑・園庭の畑・プランター・黒い袋)



子どもたちの様子

- ・様々な種類の土があることや土が循環していることを知り、興味をもっていた。
- ・戸外で見つけた草花や木を見て「大きいから栄養あるね」「枯れているから、土に栄養がないね」等会話をしていた。

保育者の振り返りと気づき

- ・さつまいもに関する本や資料を置いておくことで、興味や関心が広がっていた。
- ・苗の生長や取り組みの様子を園内に掲示し、親子のコミュニケーションツールの一つにしていく。

活動② 4か所に植えたさつまいもを観察しよう(6月)

活動のねらい

- ・さつまいもを観察し、興味をもったことを伝え合ったり調べたりする

用意した環境設定

- ・スコップ ・シャベル ・ジョウロ

活動内容

- ・4か所のさつまいもを観察し気付いたことを伝え合う
- ・さつまいもの生長に興味をもつ

子どもたちの様子

- ・雑草が生えていることに気付き、抜く。
- ・プランターのさつまいもの葉が1枚なくなっていることに気付き、どうすればよいか考え、気付いたことを伝え合っていた。
- ・肥料を入れることで枯れた葉の苗も元気に育つことや、入れ過ぎは良くないことを知り、保育者や友達と分量を考えながらスコップで入れた。



保育者の振り返りと気づき

- ・肥料を入れたことにより苗が次第に元気になっていく様子を実際に見ることができ、成功体験となった。
- ・苗を植えてから収穫までの時期は変化が見えにくいため、継続して興味をもたせるのが難しいと感じた。土の中の様子が見やすいよう透明のプランターがあると良い。

活動③ 根っこはどう伸びるの？（7月）

活動のねらい

- 水耕栽培のさつまいもを観察し、根の育ちを見て畑の土の中の様子を想像する

用意した環境設定

- カットしたさつまいも
- トレイ
- プラカップ
- 水

活動内容

- 水耕栽培の水換えをしながら変化に気付く
- さつまいもがどのように生長するのか想像し、期待をもつ

子どもたちの様子

- 水耕栽培の水換えを毎朝行い、水が紫色になっていることや水が温かいこと、また、根が生えてきたことに気づき、興味をもって触れていた。
- さつまいもに根が生えたことを喜び、友達に知らせ、更に伸びるかもしれないと期待していた。



保育者の振り返りと気づき

- 実際に触れたり世話をしたりすることで、子ども主体の気づきが得られると感じた。
- 子どもの目に触れやすい場所に置くことで、観察しやすくなったと思った。
- 気温が高く、腐ってしまった経験を踏まえ、容器や置き場を変えるなど、どのようにしていくとよいか投げかけ、考える機会を設けていく。

活動④ いよいよ収穫！！（10月）

活動のねらい

- ・収穫したさつまいもを観察し、気付いたことを知らせ合う

用意した環境設定

- ・軍手 ・タライ ・スケール（計量器） ・画用紙
- ・鉛筆 ・クレヨン ・絵の具 ・筆

活動内容

- ・園で育てたさつまいもを収穫する
- ・さつまいもの重さを量ったり数を数えたりする
- ・さつまいもの絵を描く

子どもたちの様子

- ・様々な形のさつまいもが穫れると喜び、友達や保育者と見せ合っていた。
- ・どの場所のさつまいもが一番重いか、電子計量器で量る。測った後、片手に一つずつ持って重さを比べてみると、重さの違いに気付いていた。



保育者の振り返りと気づき

- ・収穫前に、一番大きなさつまいもが穫れるのは4か所のうちどこか予想していたことで期待をもって収穫していた。
- ・子どもにとって分かりやすい量り方は何か、考えるきっかけとなった。